令和4年8月発行 http://idealideal.org/

あいである REPORT レポート

NUMBER 12

令和4年6月691名に実家便(新規:200名継続:491名)を発送いたしました!

まだまだ収まらないコロナ禍の中、施設を退所し、自活をスタートする子どもたち。
「皆さんを見守っています。」という気持ちを込めて、初めての実家便を子どもたちに送りました。

実家便を利用されている施設職員の声

伊豆長岡学園
瀬川　先生

実家便を利用させて頂いて、数年が経ちました。毎年、卒園生を送り出す中でちゃんと生活が出来ているのか心配になる時があります。連絡を小まめに取り合える子は、すぐに相談にも乗れますが、普段、なかなか連絡が取れず近況を聞けていない子もいます。連絡がないのは、頑張れている証拠なのかなとは思いますが、やはり実家便を送るタイミングで連絡を取り合い、近況を知れると安心します。実家便を通してのやり取りは、一つのコミュニケーションの方法なのかなとも感じています。支援内容もとても充実しており、卒園した子どもから、“助かっている“という話も素直に聞けています。子どもの中には仕事や学業に躓いてしまい、生活していくことに苦戦している子もいるため、このような支援はとても助かっています。
施設だけでなく、たくさんの方々に支えて頂いているということは、今後、子どもたちにとっても大きな財産になるのではないかと思います。私たち職員も皆さまの支援を活かしながら、今後も一人ひとりにあったアフターケアを行なっていきたいと思います。今後も温かく見守っていただけたらと思います。

一陽
板谷　先生

施設職員として実家便に携わって3年が経ちましたが、実家便の中身は開く度に変化していて「受け取った子が喜ぶように」と思い送って下さっている事を感じ毎回子ども職員一同とても嬉しく思っています。
実は私も施設を退所し、実家便を利用していた一人です。実家便と聞くと関西で一人暮らしを始めた4年前の夏、関西地域で大きな地震があった日の事を思い出します。余震の心配もあり不安で夜も眠れず過ごしていた私の元に届いた実家便の中身は防災グッズでした。偶然でしたが、あの時の寄り添ってくれたような感覚は今でも忘れられません。そんな素敵な実家便の活動を私たちの施設でもできないか、より多くの児童に私が感じたような安心感を届けたいという想いからアフターケアも兼ねて昨年の8月より「一陽応援便」と名付け、活動をスタートさせました。
まだまだこれからですが、前より多くの児童が帰って来てくれ近況報告や相談ごとが増え「いつも送ってくれるから」と引っ越し先の住所を教えてくれた男の子もいました。これからも退所した子ども達に繋がっている安心感がありますように、と願いながら送っていきます。
きっかけを頂いた「実家便」には本当に感謝しております。今後もよろしくお願い致します。

和敬学園
池上　先生

当園が「実家便」を利用させて頂いて3年程となります。実家便というあいである様の活動を知った当初、定期的な食べ物や日用品の支給に職員からのメッセージ付きという、「物と想い」を届けてもらえる温かい支援の内容に、深く感銘を受けたことを覚えています。
実際に卒業生に実家便の案内をすると「そんなこともしてくれんの?」と驚いたり、「嬉しい」「ありがたい」といった反応が多く見られます。これから卒業し一人暮らしをしていく子どもたちにとって、お金のことや将来のことなど、期待よりも不安の方が大きい様子を日々の支援で感じている中、卒業後でも色々な人が支えてくれることを実感できる実家便はとても安心できる支援だと思っています。
当園でも「実家便」に大いに影響を受け、半年に一度「和敬版実家便」として食料品を送る取り組みを新たに始めています。その際には、京都市の居場所事業やユースサービス協会など支援団体のチラシ、マイナポイントなどの制度の紹介などを一緒に入れる等の工夫をすることで、少しでも卒園した子どもたちが活用できる支援を増やせるように、と思っています。またアンケートを同封しコロナの状況での生活の変化や困っていることなどの集計をするなど、子どもたちの声を拾い上げられるよう独自に取り組んでいます。あいである様の活動を参考にしながら、今後も内容物やアフターケアのあり方を常にブラッシュアップできればと思います。
これからも卒業生の生活面と精神面のサポートにお力添えをいただきながら、子どもたちを共に支えていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。

新規支援者への初回実家便は災害時に役立つ防災用品、長期保存可能な食品が中心です!

★食品

- レトルト親子丼
- レトルトカレー
- パイナップルの缶詰
- 海苔とかつおのふりかけ
- 甘酒

- 即席みそ汁
- ツナ・鶏ささみフレーク缶
- パックごはん
- シリアルバー
- カップスープ
- ピーナッツ

など

★防災用品

- 携帯用トイレ
- イベントリュック
- 緊急用呼子笛
- 防寒シート
- 非常用食器折り紙
- コンパクトLEDランタン
- 単3 アルカリ 乾電池

- 4本パック
- 軍手
- ホッカイロ
- 絆創膏
- アルコール除菌ウェットティッシュ
- カードケース
- 緊急連絡カード
- アイスまくら

★同封メッセージ

- 施設職員からの手紙
- 財団メッセージ
- ボランティアメッセージカード
- 地震発生時に気を付けること

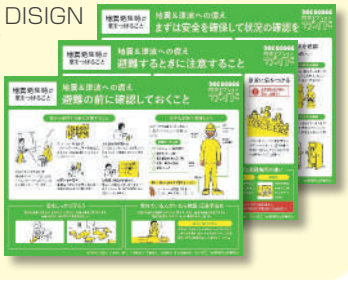
★生活用品

- ミニタオル
- 不織布マスク

「地震発生時に気を付けること」というプリントを入れました。

発災時に慌てないためにも、身を守るための手段の一つとして予備知識を持っていただきたいと思います。分かりやすいイラストで紹介されていますので、どなたがご覧になっても役立つものです。

出典:FUKKO DISIGN
木村充慶



実家便を受け取った子どもからの声

沢山の食料品やマスクなどなどとても有難く感謝致します。
現在、生活に余裕が無い為このような形での支援がとても嬉しいです。

長持ちする缶詰やレトルト、小腹の空いた時に食べられるおやつなど、気の利いたものがたくさん入っていて嬉しいです。ありがとうございました!

今回も手厚い支援をして下さり本当にありがとうございます。暖かいメッセージまで送っていただけて、日頃の疲れや不安なども和らぎました。

継続支援者へ発送した実家便はこちら!

マネークリップレクチャーの講師養成研修会を行いました!

「マネークリップレクチャー」の実施回数を増やすため、講師養成研修会を開催いたしました。

研修会の様子

新たなレクチャーカードを制作中です!

キャッシュレス決済などの新たな資金決済の仕組みへの対応や、成年年齢引き下げへの注意喚起となるカードを追加制作します。

マネークリップとは?

あいであるオリジナルのレクチャーカードを使って、お金の使い方や生活費のやりくりを体験をし、自活のシミュレーションを行うゲームです。施設職員の皆様に体験していただき、施設内での子どもの自立に向けたシミュレーションゲームとして取り入れて頂いています。

R4年度 レクチャー受講施設を募集しています!

※詳細につきましては当公益財団法人のホームページ(http://idealideal.org/)、または右のQRコードからご確認ください。▶

公益財団法人
お金をまわそう基金

お金をまわそう基金の助成先団体に選ばれました!

新たなレクチャーカードの制作費を、「お金をまわそう基金」の寄付サイトから集めています!

右のQRコードからご寄付いただけます▶

公益財団法人
あいである
〒105-0004
東京都港区新橋1丁目18-16 日本生命新橋ビル3F